

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年8月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第67期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日） |
| 【会社名】 | サンメッセ株式会社 |
| 【英訳名】 | Sun Messe Co.,Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 田中 義一 |
| 【本店の所在の場所】 | 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5番地の1 |
| 【電話番号】 | (0584)81-9111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員経理部長 千代 耕司 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5番地の1 |
| 【電話番号】 | (0584)81-9111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 執行役員経理部長 千代 耕司 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第66期 第1四半期 累計期間 | 第67期 第1四半期 累計期間 | 第66期 |
|----------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年4月1日 至平成22年6月30日 | 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日 | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 |
| 売上高(千円) | 3,265,632 | 3,305,764 | 14,138,190 |
| 経常利益又は経常損失()(千円) | 17,965 | 70,428 | 166,753 |
| 四半期純損失()又は当期純利益(千円) | 161,527 | 47,541 | 11,840 |
| 持分法を適用した場合の投資利益(千円) | - | - | - |
| 資本金(千円) | 1,236,114 | 1,236,114 | 1,236,114 |
| 発行済株式総数(株) | 17,825,050 | 17,825,050 | 17,825,050 |
| 純資産額(千円) | 9,994,116 | 10,075,124 | 10,184,449 |
| 総資産額(千円) | 17,413,263 | 17,478,821 | 17,575,412 |
| 1株当たり四半期純損失金額() 又は当期純利益金額(円) | 9.39 | 2.76 | 0.69 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 1株当たり配当額(円) | - | - | 6.00 |
| 自己資本比率(%) | 57.4 | 57.6 | 57.9 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 426,026 | 188,794 | 1,024,267 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 61,005 | 42,243 | 143,922 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー (千円) | 94,190 | 180,389 | 402,174 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円) | 1,328,854 | 1,674,753 | 1,347,813 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資損益については、関連会社がないため記載しておりません。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、3月に発生した東日本大震災による甚大な被害により、一部回復の兆しが見えていた企業活動は大きな影響を受け、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、雇用不安や長期化する円高、デフレなど、依然として厳しい状況が続いております。

印刷業界におきましても、ペーパーレス化に伴う需要の減少が進む中、同業者間の受注競争の激化や企業の経費削減、広告宣伝費の抑制が続くなど、厳しい経営環境が続いております。

このような事業環境の中で当社は、「構造改革の年」を会社の年度方針として、変化に柔軟に対応して新市場、新技術への挑戦を推し進め、更なる技術や品質の追求でお客様からの信頼を高めるとともに、収益性を改善するため、生産性の向上や徹底したコスト低減を図り、企業体質の強化に努めております。

売上の部門別では、一般商業印刷物は、カタログやダイレクトメールなどが前第1四半期累計期間を上回ったものの、社内報・会報やポスターなどが前第1四半期累計期間を下回り22億93百万円（前年同期比2.7%減）、包装印刷物はパッケージなどが前第1四半期累計期間を上回り6億33百万円（同37.6%増）、出版印刷物は取扱説明書などが前第1四半期累計期間を下回り3億78百万円（同15.4%減）となりました。

以上の結果、売上高は33億5百万円（前年同期比1.2%増）、営業損失は1億4百万円（前年同期は営業損失12百万円）、経常損失は70百万円（前年同期は経常利益17百万円）、四半期純損失は47百万円（前年同期は四半期純損失1億61百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は16億74百万円となり、前事業年度末と比較して3億26百万円の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において営業活動により増加した資金は、1億88百万円（前年同期は4億26百万円の増加）となりました。これは主に原材料の仕入・外注費の支出で18億70百万円、人件費の支出で12億59百万円それぞれ減少したものの、営業収入で38億62百万円増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において投資活動により減少した資金は、42百万円（前年同期は61百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出で57百万円減少したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期累計期間において財務活動により増加した資金は、1億80百万円（前年同期は94百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出で30百万円、配当金の支払額で45百万円それぞれ減少したものの、短期借入れによる収入で2億50百万円、長期借入れによる収入で50百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動の金額は、15百万円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】 【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 60,000,000 |
| 計 | 60,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年8月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 17,825,050 | 17,825,050 | 大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード) | 単元株式数100株 |
| 計 | 17,825,050 | 17,825,050 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】 該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】 該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】 該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成23年4月1日～ 平成23年6月30日 | - | 17,825,050 | - | 1,236,114 | - | 1,049,534 |

(6)【大株主の状況】 当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

（平成23年6月30日現在）

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|------------------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） （注1） | 普通株式 622,500 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） （注2） | 普通株式 17,199,800 | 171,998 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 2,750 | - | - |
| 発行済株式総数 | 17,825,050 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 171,998 | - |

（注）1．「完全議決権株式（自己株式等）」欄は、すべて当社所有の自己株式であります。

2．「完全議決権株式（その他）」欄の株式数には、株式会社証券保管振替機構名義の株式 1,100株が含まれており、同欄の議決権の数には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数11個が含まれております。

【自己株式等】

（平成23年6月30日現在）

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|------------|--------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| サンメッセ株式会社 | 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5番地の1 | 622,500 | - | 622,500 | 3.49 |
| 計 | - | 622,500 | - | 622,500 | 3.49 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期財務諸表等規則第4条の2第2項により、四半期キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次の通りであります。

| | |
|---------|------|
| 資産基準 | 0.6% |
| 売上高基準 | 1.6% |
| 利益基準 | 2.1% |
| 利益剰余金基準 | 0.1% |

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,418,813 | 1,745,753 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,732,026 | 3,359,161 |
| 有価証券 | 100,080 | 100,040 |
| 製品 | 97,664 | 93,074 |
| 仕掛品 | 256,600 | 275,873 |
| 原材料及び貯蔵品 | 93,714 | 95,868 |
| 繰延税金資産 | 152,000 | 185,000 |
| その他 | 54,291 | 78,290 |
| 貸倒引当金 | 54,325 | 49,119 |
| 流動資産合計 | 5,850,865 | 5,883,942 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 2,211,545 | 2,183,549 |
| 機械及び装置(純額) | 2,379,148 | 2,273,898 |
| 土地 | 3,832,737 | 3,832,737 |
| その他(純額) | 293,140 | 282,641 |
| 有形固定資産合計 | 8,716,572 | 8,572,827 |
| 無形固定資産 | 71,741 | 107,634 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,167,252 | 2,149,842 |
| 繰延税金資産 | 553,000 | 559,000 |
| その他 | 229,347 | 218,291 |
| 貸倒引当金 | 13,366 | 12,716 |
| 投資その他の資産合計 | 2,936,233 | 2,914,417 |
| 固定資産合計 | 11,724,547 | 11,594,878 |
| 資産合計 | 17,575,412 | 17,478,821 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,809,640 | 1,621,586 |
| 短期借入金 | 2,000,000 | 2,220,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 127,506 | 75,004 |
| 未払法人税等 | 23,000 | 7,000 |
| 賞与引当金 | 257,000 | 129,500 |
| その他 | 792,132 | 893,468 |
| 流動負債合計 | 5,009,278 | 4,946,559 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 143,339 | 222,511 |
| 退職給付引当金 | 1,784,053 | 1,788,843 |
| 役員退職慰労引当金 | 287,125 | 290,489 |
| その他 | 167,165 | 155,293 |
| 固定負債合計 | 2,381,683 | 2,457,136 |
| 負債合計 | 7,390,962 | 7,403,696 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,236,114 | 1,236,114 |
| 資本剰余金 | 1,049,534 | 1,049,534 |
| 利益剰余金 | 8,007,532 | 7,908,383 |
| 自己株式 | 405,236 | 405,236 |
| 株主資本合計 | 9,887,945 | 9,788,796 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 296,504 | 286,328 |
| 評価・換算差額等合計 | 296,504 | 286,328 |
| 純資産合計 | 10,184,449 | 10,075,124 |
| 負債純資産合計 | 17,575,412 | 17,478,821 |

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---------------|---|---|
| 売上高 | 3,265,632 | 3,305,764 |
| 売上原価 | 2,691,533 | 2,740,473 |
| 売上総利益 | 574,099 | 565,291 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃及び荷造費 | 92,419 | 103,690 |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 5,214 |
| 給料及び手当 | 232,843 | 268,134 |
| 賞与引当金繰入額 | 36,382 | 46,523 |
| 退職給付引当金繰入額 | 10,753 | 10,328 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 3,693 | 4,264 |
| その他 | 210,453 | 241,989 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 586,545 | 669,715 |
| 営業損失() | 12,445 | 104,424 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 393 | 1,204 |
| 受取配当金 | 16,331 | 18,056 |
| 不動産賃貸料 | 17,229 | 16,714 |
| その他 | 13,925 | 13,401 |
| 営業外収益合計 | 47,880 | 49,377 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,623 | 6,306 |
| 不動産賃貸費用 | 7,450 | 6,646 |
| その他 | 2,394 | 2,428 |
| 営業外費用合計 | 17,468 | 15,381 |
| 経常利益又は経常損失() | 17,965 | 70,428 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 175 | - |
| 貸倒引当金戻入額 | 9,487 | - |
| その他 | 432 | - |
| 特別利益合計 | 10,094 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | - | 35 |
| 固定資産廃棄損 | 21 | 258 |
| 投資有価証券評価損 | 174,407 | 10,432 |
| その他 | 28 | - |
| 特別損失合計 | 174,456 | 10,726 |
| 税引前四半期純損失() | 146,396 | 81,155 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,798 | 2,448 |
| 法人税等調整額 | 12,333 | 36,062 |
| 法人税等合計 | 15,131 | 33,613 |
| 四半期純損失() | 161,527 | 47,541 |

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 営業収入 | 3,947,321 | 3,862,721 |
| 原材料の仕入・外注費の支出 | 1,798,971 | 1,870,371 |
| 人件費の支出 | 1,318,180 | 1,259,399 |
| その他の営業支出 | 409,744 | 436,066 |
| 小計 | 420,424 | 296,883 |
| 不動産賃貸料等の受取額 | 35,355 | 29,617 |
| 不動産賃貸支出の支払額 | 2,777 | 2,635 |
| 立替金等の支出 | 235,479 | 316,858 |
| 立替金等の回収による収入 | 225,673 | 276,794 |
| 消費税等の還付額 | 10,493 | - |
| 消費税等の支払額 | 21,866 | 83,585 |
| 法人税等の支払額 | 5,798 | 11,421 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 426,026 | 188,794 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 71,671 | 57,877 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 633 | 16 |
| 無形固定資産の取得による支出 | - | 4,479 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 6,869 | 6,060 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 245 | - |
| 利息及び配当金の受取額 | 15,306 | 17,405 |
| その他の支出 | 195 | 270 |
| その他の収入 | 1,544 | 9,020 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 61,005 | 42,243 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 200,000 | 250,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | 30,000 | 30,000 |
| 長期借入れによる収入 | - | 50,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 12,498 | 23,330 |
| リース債務の返済による支出 | 8,994 | 11,990 |
| 自己株式の取得による支出 | 11 | - |
| 配当金の支払額 | 44,322 | 45,311 |
| 利息の支払額 | 9,982 | 8,978 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 94,190 | 180,389 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | - | - |
| 現金及び現金同等物の増減額（は減少） | 459,211 | 326,940 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 869,643 | 1,347,813 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,328,854 | 1,674,753 |

【追加情報】

当第1四半期累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|--|--|
| 1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年6月30日現在) | 1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年6月30日現在) |
| 現金及び預金勘定 1,378,854千円 預入期間が3か月を超える定期預金 50,000千円 現金及び現金同等物 1,328,854千円 | 現金及び預金勘定 1,745,753千円 預入期間が3か月を超える定期預金 71,000千円 現金及び現金同等物 1,674,753千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年5月21日 取締役会 | 普通株式 | 51,607 | 3.0 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月11日 | 利益剰余金 |

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年5月20日 取締役会 | 普通株式 | 51,607 | 3.0 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月10日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

当社は、印刷事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下の通りであります。

| | 前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|----------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額()(円) | 9.39 | 2.76 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失()(千円) | 161,527 | 47,541 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純損失()(千円) | 161,527 | 47,541 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 17,202,578 | 17,202,492 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成23年5月20日開催の取締役会において、次の通り剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額・・・・・・・・・・・・・・・・・・51,607千円

1株当たりの金額・・・・・・・・・・・・・・・・3円

支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成23年6月10日

(注)平成23年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月9日

サンメッセ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 松岡 正明
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 浅井 孝孔
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンメッセ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第67期事業年度の第1四半期会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、サンメッセ株式会社の平成23年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。